

Ⅱ. 第三次基本計画で目指す姿

1. まちづくりの目標

基本構想における「まちづくりの基本理念」に基づく、「将来都市像」のもと、これを実現するための、第三次基本計画における目標として「3年間のまちづくりの目標」を定めます。

将来都市像

ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ

3年間のまちづくりの目標

具体的な対策で 持続可能な未来につながる まちづくり

本市の長期的なまちづくり目標である「市川市総合計画 I&Iプラン 21」の計画期間が残り3年となりました。

この3年間では、本市が将来都市像の実現に向け進めてきたこれまでのまちづくりの成果を現在の世代に一層享受してもらうとともに、将来の世代にうまく引き継ぎ、持続可能な未来につなげていかなければなりません。

そのためにも、第三次基本計画では、将来を見据えたうえで今取り組むべき課題である「本市の重点課題」や、地球全体における課題の解決のために定められた目標である「SDGs」を踏まえ、3つの柱をもって具体的な対策を進め、実効性・即効性のある施策を講じます。

(1) 安心で快適なまち

福祉の充実や多様性社会の推進、万が一の事態に備えた防災・防犯対策、暮らしを支える都市基盤の整備など、お互いに支え合い、誰一人取り残さない安心で快適なまちにしていきます。

(2) 健やかに暮らせるまち

安心して子育てできる環境整備や年齢・障がいなどに応じた健康づくりのサポート、健康の源である食の環境を守ることに取り組むとともに、本市の特性である水辺や里山など多くの自然に恵まれた環境を生かし、心身ともに健やかに暮らせるまちにしていきます。

(3) 魅力あふれる元気なまち

「文教都市いちかわ」として受け継がれてきた歴史や伝統、文化を尊重しつつも新たな魅力を生み出し発信していきます。さらに、地域経済の活性化とカーボンニュートラルの実現に取り組み、活力ある元気なまちにしていきます。

2. 未来へのアプローチ

「基本構想」と「本市の重点課題」から、施策の横串「未来へのアプローチ」を導き出し、施策横断的な視点から市川らしい施策展開を目指し、複雑・多様化する諸課題に対応します。

また、施策の横串自体を市民目線・未来志向とすることで、第三次基本計画の総合評価においては、従来の施策の大分類（分野）ごとの評価に加え、横串ごとの評価を行います。

イラストで表現(予定)

【重点課題】子育て世代の定住促進と出生率向上

↳ 【未来へのアプローチ】安心して子育てができる

【重点課題】医療・福祉ニーズの増加に備えた健康寿命の延伸

↳ 【未来へのアプローチ】いつまでも地域で健やかに暮らせる

【重点課題】感染症・激甚化する災害の対応

↳ 【未来へのアプローチ】災害・感染症に強く、安全・安心を実感できる

【重点課題】多様性を意識した施策展開

↳ 【未来へのアプローチ】多様性を認め合い、個人が尊重され、自分らしく暮らせる

【重点課題】 地域コミュニティの再構築

↳ 【未来へのアプローチ】 多様な主体がつながり、協力し合う

【重点課題】 地域経済の活性化

↳ 【未来へのアプローチ】 経済の活性化により地域が発展する

【重点課題】 カーボンニュートラルの実現

↳ 【未来へのアプローチ】 地球環境を守り、豊かな市川の自然を次世代につなげる

【重点課題】 デジタル化による生活の利便性向上

↳ 【未来へのアプローチ】 デジタル技術でだれもが快適になる

【基本構想】

↳ 【未来へのアプローチ】 子どもたちが希望をもって、自ら伸び、育つ

【基本構想】

↳ 【未来へのアプローチ】 「文化のまち」の息づかいが感じられる

■未来へのアプローチの体系

未来へのアプローチ	基本目標 1 真の豊かさを感じるまち										基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち					
	基本目標	保健・医療	子育て	地域福祉	障害者福祉	高齢者福祉	社会保障・住まい	スポーツ	子どもの教育	生涯学習	雇用・労働	多様性社会	平和	芸術・文化	文化的資産	文化の創造
安心して子育てができる		○	○				○	○	○		○	○	○			
いつまでも地域で健やかに暮らせる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
災害・感染症に強く、 安全・安心を実感できる		○	○	○	○	○		○	○		○					
多様性を認め合い、 個人が尊重され、自分らしく暮らせる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
多様な主体がつながり、 協力し合う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
経済の活性化により地域が発展する			○								○	○				○
地球環境を守り、豊かな 市川の自然を次世代につなげる																
デジタル技術でだれもが快適になる		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○
子どもたちが希望をもって、 自らの伸び、育つ		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○	
「文化のまち」の息づかい が感じられる								○	○	○		○	○	○	○	○

基本目標3 安全で快適な魅力あるまち											基本目標4 人と自然が 共生するまち					基本目標5 市民と行政がともに築 くまち									
危機管理	防災	消防	市民安全	交通安全	道路・交通	下水道	住宅・住環境	公共施設	土地利用・景観	経済・商工業	都市農業	水産業	自然環境・生物多様性	公園・緑地	水辺	地球環境	生活環境	資源循環型社会	協働・市民参加	情報の発信・提供	地域コミュニティ・市民活動	行政経営	財政運営	広域行政・大都市制度	情報政策
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○		○	○			○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○			○		○				○			○			○	○	○	○	○	○
○	○		○				○	○		○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
					○					○	○	○									○	○	○	○	○
○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
○	○		○					○		○										○	○	○	○	○	○
				○				○					○	○	○							○	○	○	○
								○	○				○	○	○		○			○	○	○	○	○	○

Ⅱ. 第三次基本計画で目指す姿(未定稿)

■現状値

項目	未来へのアプローチの環境を実感していると回答した市民の割合(%)
安心して子育てができる	26.5
いつまでも地域で健やかに暮らせる	33.8
災害・感染症に強く、安全・安心を実感できる	28.4
多様性を認め合い、個人が尊重され、自分らしく暮らせる	21.6
多様な主体がつながり、協力し合う	12.8
経済の活性化により地域が発展する	14.1
地球環境を守り、豊かな市川の自然を次世代につなげる	24.1
デジタル技術でだれもが快適になる	14.8
子どもたちが希望をもって、自らの伸び、育つ	18.9
「文化のまち」の息づかいが感じられる	28.7

※令和4年8月実施のアンケート調査によるもの

第三次基本計画を通して数値の向上を図ります

(計画終了時に調査・評価を実施)